施工説明書

TOTO

取り替え用サーモスタットシャワー金具

TMHG40型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

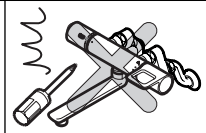
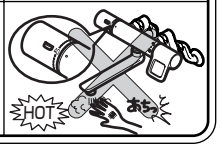
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

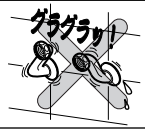
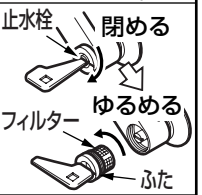
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

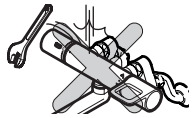
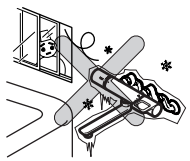
⚠ 警　告

禁止	**湯水を逆に配管しない** 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
禁止	**給湯温度は85℃より高温で使用しない** 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
分解禁止	**この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない** 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う** 使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。	

⚠ 警　告

必ず実行	**取付脚部や配管に腐食・ひび割れ・水漏れなどがないことを十分に確かめ、取り付ける** 腐食などがあると、やけどをしたり、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う** **また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認する** 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
禁止	寒冷地用 **水抜コックは水抜き以外の目的で開けない** 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

禁止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く** **また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に行う** 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅浴室用

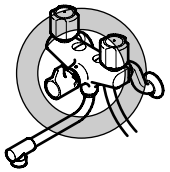
3-1 取り付け前に

1.今お使いの水栓の確認

●壁付き2ハンドル混合栓のほとんどに取り付け可能です。

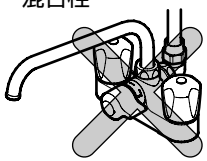
〈取り付け可能な水栓〉

①壁付き2ハンドル混合栓

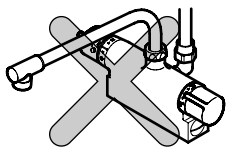


〈取り付けできない水栓〉

①台付き2ハンドル混合栓



②サーモスタットシャワーバス水栓



③湯水が逆配管(向かって右が湯、左が水)の場合

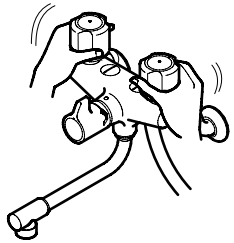
●KVK・カクダイの一部商品には別途アダプター(THY726)が必要です。この場合、前出寸法がさらに大きくなります。

→ 6-2 − 4「取替用脚の取り付け」参照

3-2

2.今お使いの水栓の取付状況の確認

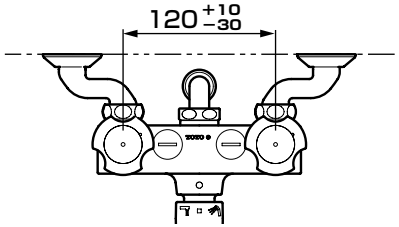
●水栓を前後にゆすってガタツキがないか確認してください。



注　意

ガタツキがあるまま工事しないでください。水漏れなどの危険があります。

●取付脚の間隔を測り、120^{+10}_{-30} であることを確認してください。



3.その他

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。

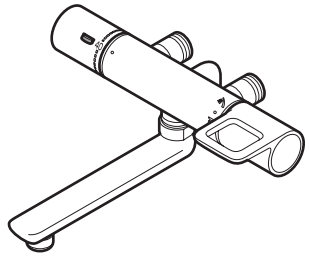
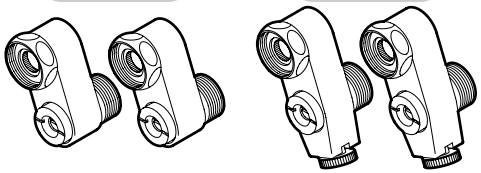
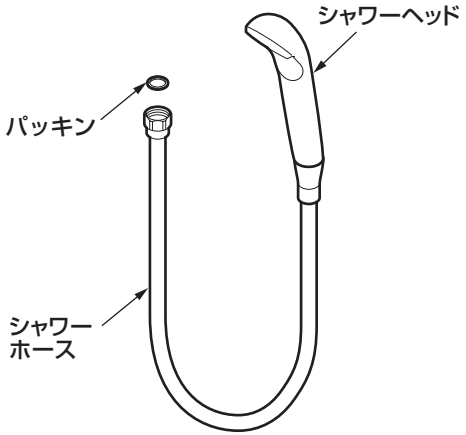
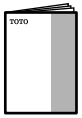
●快適なシャワー流量・温度を得るためには、給湯機の給湯温度は60℃設定をおすすめします。
やけど防止のため、60℃を超えない設定をしてください。

●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

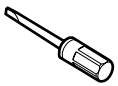
4 部品の確認

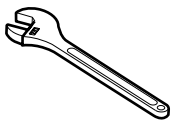
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	取替用脚部
	中パッキン（2個） TOTO・KVK・INAX カクダイ・SAN-EI用 小パッキン（2個） MYM用 取替用脚 大パッキン付き（2個） 一般地用　寒冷地用 
シャワー部	**その他**
	 施工説明書 必ずお客様にお渡しください  取扱説明書 開閉工具 使いかたラベル 水抜き方法ラベル（寒冷地用のみ）

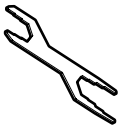
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
※シャワーハンガーは同梱されていません。今お使いのものをそのままお使いください。

使用工具


マイナスドライバー


モンキーレンチ（300mm）

または


TZY44R

300mmのモンキーレンチをお持ちでない方は別売の専用工具(TZY44R)でも施工できます。

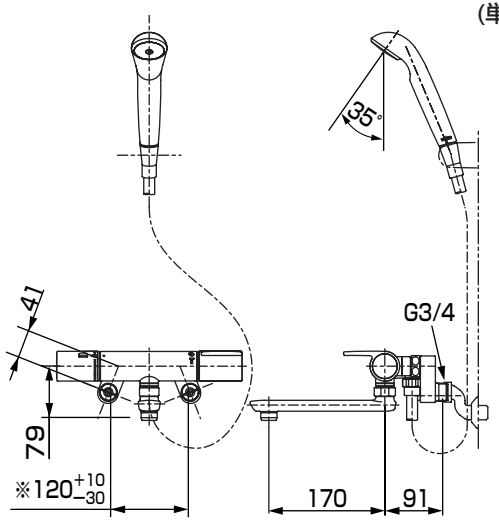
5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

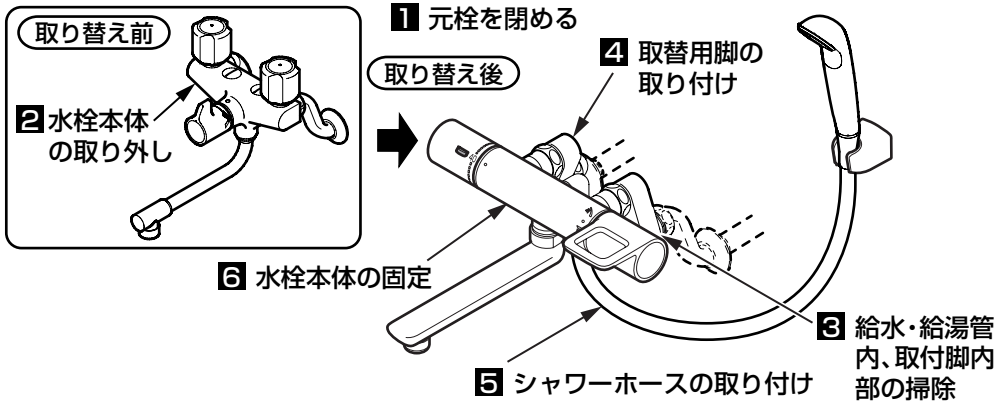
TMHG40型

※印は配管ピッチが（標準 最長/最短）の場合です。

(単位：mm)



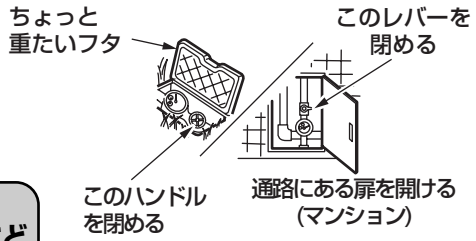
6-1 施工手順



※本説明書は、壁付き2ハンドル混合栓からの取り替えを例に表示してあります。

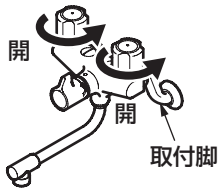
1 元栓を閉める

①水道メーターの元栓を閉める。
②ハンドルを開け、水が出ないことを確認する。



注　意

取付脚部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分に確認してください。また、配管や取付脚部の強度も十分に確認してください。
取り付け後、破損、水漏れのおそれがあります。

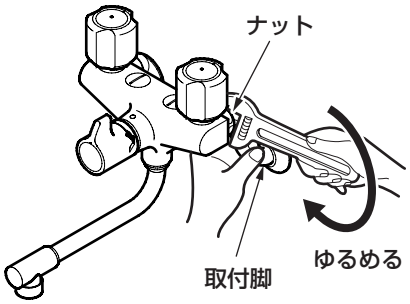


2 水栓本体の取り外し

取付脚のナットをモンキーレンチでゆるめ、本体部のみを取り外す。

注　意

取付脚がゆるまないよう十分に手で保持してください。



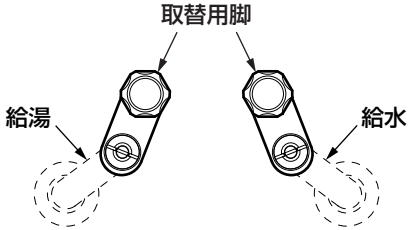
3 給水・給湯管内、取付脚内部の掃除

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内、取付脚内部のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

4-1 取替用脚の取り付け

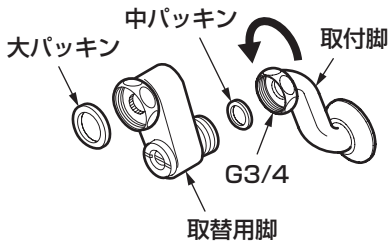
①本体と取付脚の間にある古いパッキンを取り除く。
②取替用脚を取り付ける。



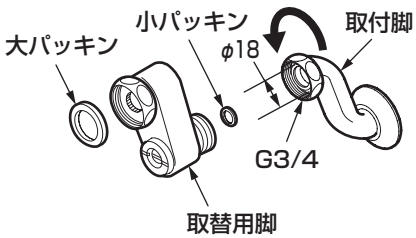
注　意

必ず同梱の新しいパッキンと交換してください。
水漏れのおそれがあります。

TOTO・KVK・INAX・カクダイ・SAN-EI

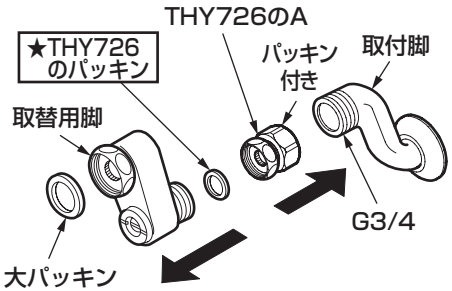


MYM



KVK・カクダイの一部

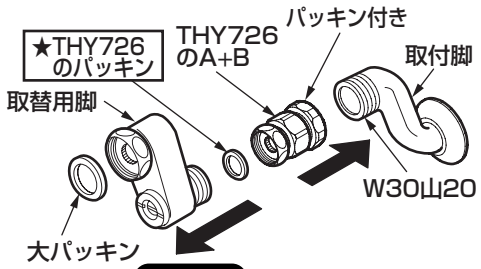
●THY726のAを取付脚に取り付けてください



アダプター
（別売：THY726）

KVKの一部

●THY726のAとBを取付脚に取り付けてください



注　意

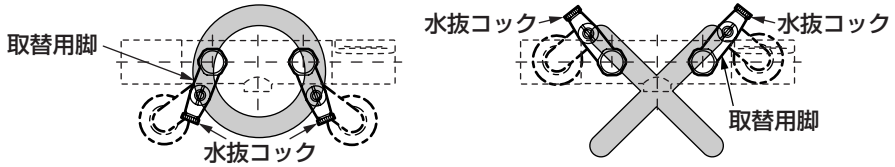
アダプターを取り付けた場合は前出寸法がさらに大きくなりますので、配管や取付脚の強度を十分に確認してください。
取り付け後、破損・水漏れのおそれがあります。

裏面へつづく

4-2 取替用脚の取り付け(つづき)

寒冷地用の場合

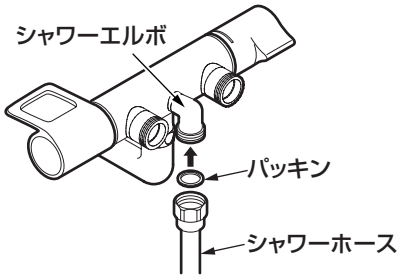
※寒冷地の場合は取替用脚の水抜コックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。



5 シャワーホースの取り付け

①シャワーエルボが左右に振れることを確認する。

②シャワーエルボにシャワーホースを取り付ける。



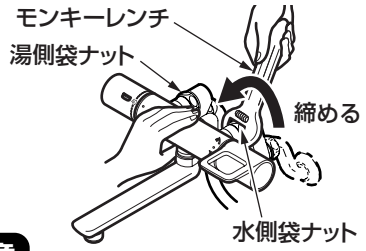
注 意

パッキンが入っていることを確認してください。

6 水栓本体の固定

①水栓本体を取付脚に取り付ける。

②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。



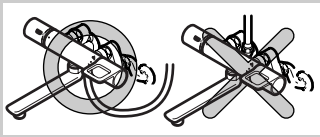
注 意

●ゆるみがないようにしっかり締めてください。
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

●取付脚は回さないでください。
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。

●パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

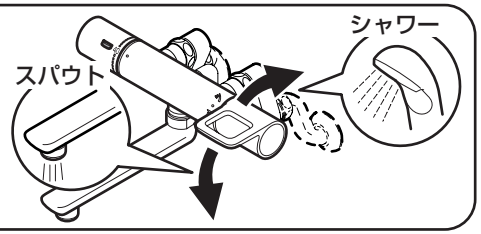
●シャワーホースは取付脚の下から取り出してください。
上から取り出した場合、ホースの折れや破損のおそれがあります。



7-1 施工後の調節

1.水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。

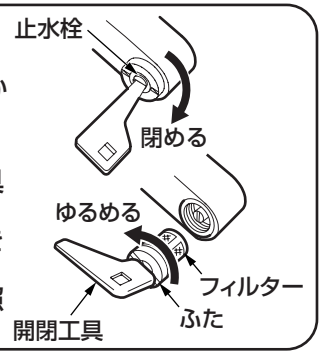


2.フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

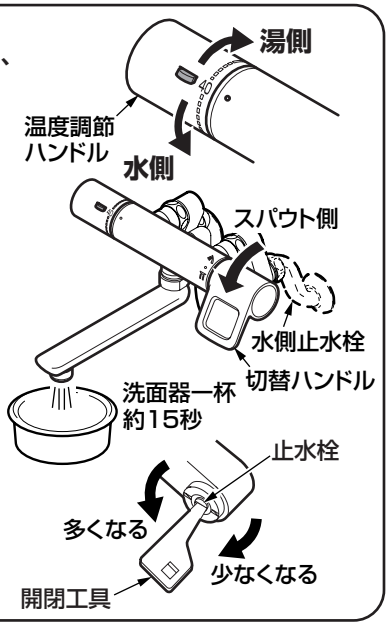
※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でふたを外してください。
また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認してください。
（詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください。）



3.流量の調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で **止水栓** を調節してください。

1. 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに回し、切替ハンドルを下に回す。
2. 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。
   時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。
3. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



⚠ 警 告

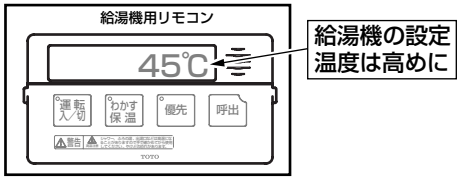
必ず実行	**湯側の調節を行うときは十分に注意する** 熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

4.吐水温度の確認

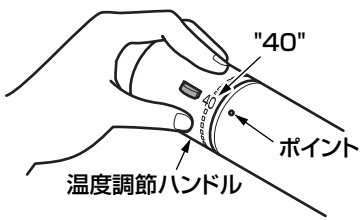
温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。
吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. **給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。**

   温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。
   快適なシャワー流量・温度を得るためには、60℃に設定することをおすすめします。



2. **温度調節ハンドルの目盛り"40"をポイントにあわせる。**

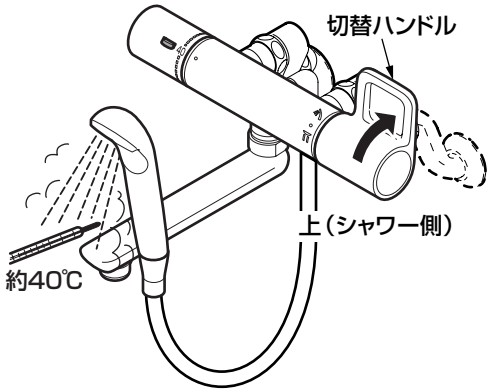


3. **切替ハンドルを上いっぱいに回す。**

   シャワーから水が出ます。

4. **吐水温度を確認する。**

   吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。
   温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。
   給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



5.温度調節ハンドルの設定

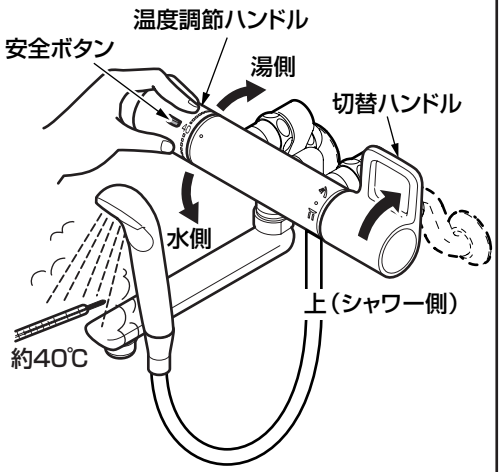
※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。
TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

1. **切替ハンドルを上いっぱいに回す。**

   シャワーから水が出ます。

2. **温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。**

   温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

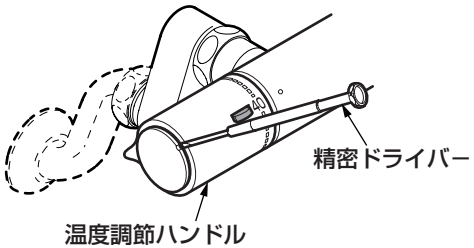


3. **温度調節ハンドルを外す。**

   温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

注意

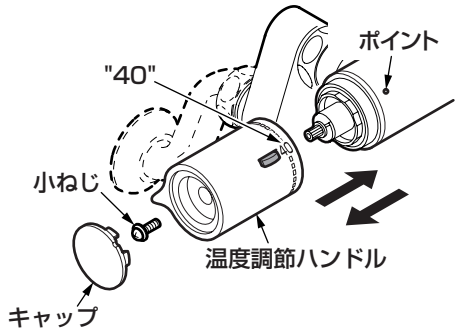
キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。



4. **温度調節ハンドルを取り付ける。**

   目盛り"40"の文字とポイントをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

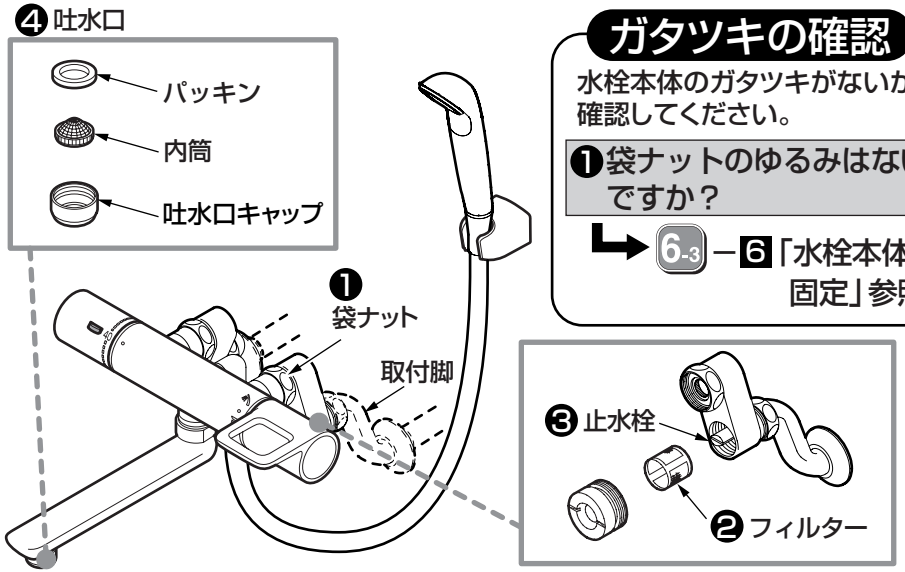
ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落下させるとけがをしたり、ハンドルが変形するおそれがあります。



5. **固定後に適温（約40℃）の湯が出ているか確認する。**

8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

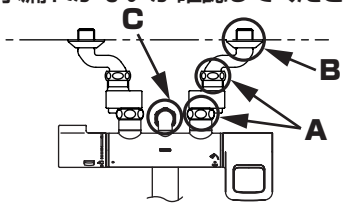
水栓本体のガタツキがないか確認してください。

❶袋ナットのゆるみはないですか？

6-3 ー 6「水栓本体の固定」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

10「取付脚から水漏れがある場合」を参照のうえ、取付脚を取り付け直してください。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❷ フィルターのごみ詰まりはないですか？

7-1 2. フィルターの掃除 参照

❸ 止水栓は開いていますか？

止水栓で流量を調節する。

7-1 3. 流量の調節 参照

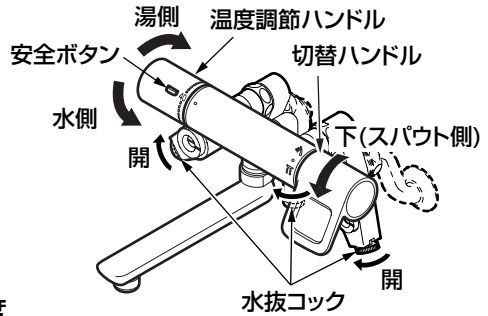
❹ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

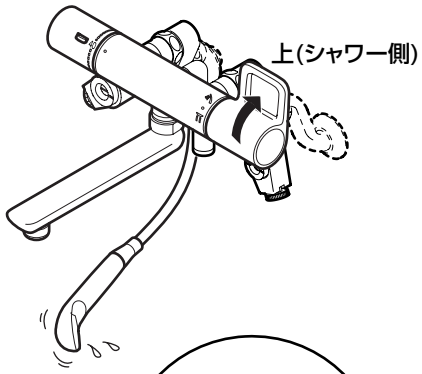
吐水口の掃除をする。

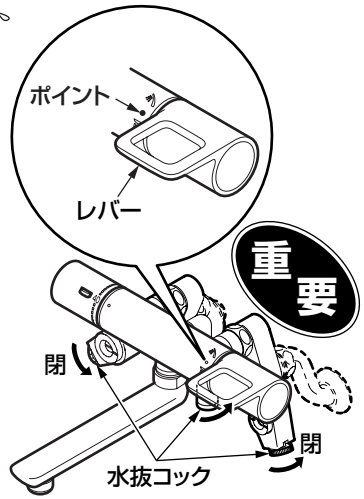
9 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。
2. 切替ハンドルを下いっぱいに回す。
3. 水抜コック(3カ所)をすべて開ける。
4. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに回して水を抜く。
5. スパウトから水が出なくなったら、下(水側)いっぱいに回して水を抜く。
6. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを上いっぱいに回す。
7. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。
8. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。
9. 水抜き完了後は必ず水抜コックを閉めて、切替ハンドルのレバーを水栓本体のポイントの位置(水が出ない状態)に戻す。







10 取付脚から水漏れがある場合

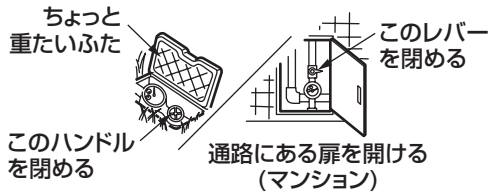
水漏れチェック時、取付脚部分から水漏れが発生した場合は、取付脚を取り付け直す必要があります。水漏れが発生した脚のみ取り付け直してください。

注　意

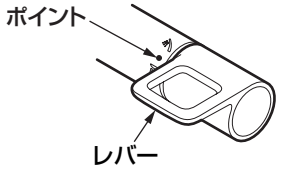
現在ついている配管が古い場合など、配管が破損するおそれがあります。
お近くの水道工事店または東陶メンテナンス(株)へ相談することをおすすめします。

1 元栓を閉める

①水道メーターの元栓を閉める。



②切替ハンドルのレバーを水栓本体のポイントの位置(水が出ない状態)に戻し、水が出ないことを確認する。

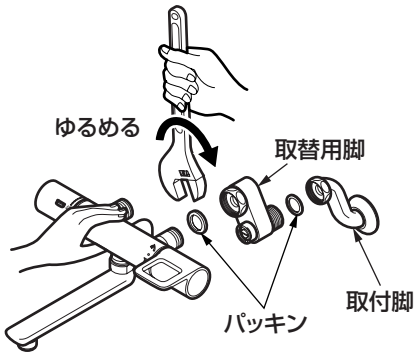


2 水栓および取付脚の取り外し

①取替用脚のナットをモンキーレンチでゆるめ、本体部を取り外す。

②取付脚のナットをモンキーレンチでゆるめ、取替用脚を取り外す。

③取付脚を反時計回りに回し取り外す。



注　意

パッキンをなくさないように注意してください。

3 給水・給湯管内、取付脚内部の掃除

重要

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内、取付脚内部のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

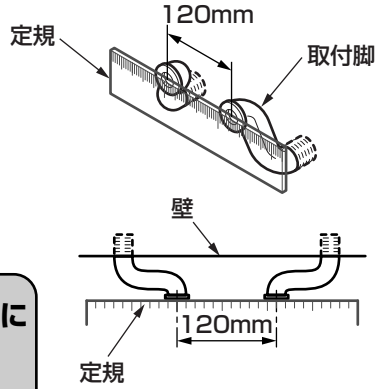
4 取付脚の位置決め

①取付脚を壁に最後まで仮にねじ込む。

②2個の脚の端面を上に向け、壁と平行にする。

③取付脚の間隔を **120mm** にする。

④回転数を確認しながら取付脚を取り外す。



注　意

取付位置から取り外すまでの回転数を下表に記入してください。

右側　：　　回	左側　：　　回

5 取付脚の取り付け

①取付脚に袋ナットを通し、カバーをねじ込む。

②ねじ部にシールテープ(市販品)を巻く。

注　意

●シールテープを巻く方向に注意してください。
●シールテープは必ず5巻き以上巻いてください。

③取付脚を **4** で数えた回数だけねじ込む。

※締め込みがゆるい場合は一度取り外し、シールテープを多く巻いて再度ねじ込んでください。

④このあとは表面の「6-2 ー 4-1 取替用脚の取り付け」より取り付け直してください。

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。